

事務局 日本デザイン専門学校 金子武志
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 5-7-3
TEL03-3356-1501 E-mail kaneko@ndc.ac.jp
デザイン学会 教育部会 URL <http://jssd.jp/modules/tinyd5/index.php?id=51>

デザイン教育研究会のおしらせ 2014_2

今年度の研究会の共通テーマは「まなびのかたち、おしえのかたち」の2回目です。

今回は、インドの少数民族が暮らすちいさな村で日印共催アートフィスティバルの企画開催、現地で伝統的な家作りを通して、共に持続可能な自然との共生を模索する学びの場作りをスタートした Wall Art Project 主催のおふたりをお招きします。インド、日本の若者がインドでどんな学びの場を得たのか、またデザインやアートは何ができるのかなど、ユニークな実践を中心にお話を伺います。

テーマ 「自然との共生：持続可能なまなびのかたち」～アート、デザインは何が出来るのか

発表者 おおくにあきこ 浜尾和徳 (NPO 法人 Wall Art Project 統括ディレクター / ディレクター 兼 コーディネーター)

日時 2014年11月21日(金) 18:00～20:00

会場 女子美術大学 杉並キャンパス 1号館 2F 1201 セミナールーム

ウォールアートプロジェクトは2009年に設立以降、インド農村部3か所(ビハール州ブダガヤ、マハラシュトラ州ダハヌ、ジャンムーカシュミール州ラダック)、日本では福島県郡山市、栃木県さくら市にて、アートプロジェクトを展開してきました。活動の目的は、地元の人々と協働しアートプロジェクトを展開することで、アートの力を人々に伝えること。自由性、平等性、人と人をつなぐ力…アートはたくさんの力を持っているということ、アーティストと共に示してきました。

インドでの活動では、学校で芸術祭を開催することで、識字率が低い地域の学校に通っていない子どもとその保護者が学校に足を運ぶきっかけを作ることも目的です。プロジェクト後、新しく学校に通い始める子どもが50人~100人増えるという現象も起きています。「何かをやり遂げる自信がついた」「絵を描く、踊る、歌う…表現することが好きになった」など、子どもたちの

内面的な変化も引き起こされます。外部からのボランティアと地元の有志が芸術祭を作り上げていく過程で様々な垣根を越えた交流が生まれることも、このプロジェクトの特徴です。

新プロジェクト・[Noco Project ノコプロジェクト]ノコ=ワリ族の言葉で、「もう十分、ストップ」の意。インド西部に暮らすワリ族。ジャングルに囲まれた村で生きる彼らは、そこで採れる土と木材に牛ふんを効果的に使った家作り文化を持ちます。彼らの伝統的な家作りと、日本のデザイナーの知恵を融合させ、持続可能な家のモデルを創出するプロジェクトです。「家」は日本や海外の青年たちが持続可能な社会、ローカリゼーションを模索し、学ぶ拠点として機能します。

今回は、ウォールアートプロジェクトのこれまでの実践・活動をご紹介しますと共に、新しい試みについてみなさんと対話できる機会になることを願っています。

おおくにあきこ(統括ディレクター)

東京生まれ。フリーライターとして、女性雑誌を中心に、インタビュー、旅行、ブックレビューなどを執筆。フランス、英国、オーストラリア、中国、ベトナムなど海外派遣も多数。執筆の傍ら、有限会社ブルーベアのエグゼクティブアートディレクターとして制作物を統括。

アートディレクションの経験を生かし、2010年から特定非営利活動法人ウォールアートプロジェクト理事長に。インドの片隅から発信する国際的芸術祭「ウォールアートフェスティバル」をオーガナイズ。

浜尾和徳(ディレクター 兼 コーディネーター)

1985年、福島生まれ。東京学芸大学卒業後、アルバイトを経てニランジャンスクールオブボランティヤ・コーディネーターとしてインドへ。滞在中、ビハール州マガダ大学で労働・社会福祉学を修了。

okazuの愛称で呼ぶインド人の友人多数。ヒンディー語を話し、ウォールアート・フェスのために、インドで実行委員会をがっちり組織。

Wall Art プロジェクトの要的存在。現在、先住民族ワリ族の村で暮らし、彼らの文化に親しみつつ日本と繋いでいる。



【会場へのアクセス】

前回と会場が異なりますのでご注意ください。

女子美術大学 杉並キャンパス
北門入口1号館ガレリアニケ・歴史資料展示室 2F

〒166-8538 東京都杉並区和田 1-49-8

東京メトロ 丸ノ内線 東高円寺駅 下車 徒歩 8分

地図：<http://www.joshibi.ac.jp/access/suginami>

問合せ 女子美術大学 芸術学部 坪谷彩子(教育部会・事務局)

TEL: 042-778-6129 E-mail: [tsuboya07016\(at\)venus.joshibi.jp](mailto:tsuboya07016(at)venus.joshibi.jp) *atは@へ置き換えてください